『土佐日記』「帰京」（読解）

京に入り立ちてうれし。家に至りて、門に入るに、月明ければ、いとよく①ありさま見ゆ。聞きしよりもまして、言ふかひなくぞこぼれ破れたる。家に預けたりつる人の心も、荒れたるなりけり。「中垣こそあれ、一つ家のやうなれば、望みて預かれるなり。」「さるは、たよりごとに、ものも絶えず得させたり。」②「今宵、かかること。」と、声高にものも言はせず。いとはつらく見ゆれど、③こころざしはせむとす。

さて、池めいてくぼまり、水つける所あり。ほとりに松もありき。五年六年のうちに、④千年や過ぎにけむ、かたへはなくなりにけり。⑤今生ひたるぞ混じれる。おほかたの、みな荒れにたれば、「あはれ。」とぞ人々言ふ。思ひ出でぬことなく、思ひ恋しきがうちに、この家にて生まれし女子の、⑥もろともに帰らねば、いかがは悲しき。船人もみな、子たかりてののしる。かかるうちに、なほ悲しきに堪へずして、ひそかに心知れる人と言へりける歌、

生まれしも帰らぬものをわが宿に⑦小松のあるを見るが悲しさ

とぞ言へる。なほ飽かずやあらむ、またかくなむ、

見し人の松の千年に見ましかば遠く悲しき別れせましや

忘れがたく、くちをしきこと多かれど、⑧え尽くさず。とまれかうまれ、とく破りてむ。

問一　傍線部①とありますが、何の「ありさま」ですか？本文中から一語で抜き出しなさい。

問二　傍線部②は、何を見て発した言葉ですか？最も適切なものを選び、記号で答えなさい。

ア　家や庭がひどい状態である様子。　　イ　何もしない隣人の冷たい態度。

ウ　中垣を壊して自分のものにしていた隣人。　　エ　プレゼントだけきっちり受け取る態度。

問三　傍線部③を現代語訳しなさい。

問四　傍線部④と感じたのはなぜですか？最も適切なものを選び、記号で答えなさい。

ア　庭にくぼみができて、水がたまっていたから。

イ　庭に新しい生命が誕生していたから。

ウ　家族全員でまた暮らせると思ったから。

エ　千年生きると言われる松が、半分なくなっていたから。

問五　傍線部⑤とありますが、何が生えてきましたか？本文中から二字で抜き出しなさい。

問六　傍線部⑥とありますが、誰と誰が一緒に帰らなかったのですか？最も適切なものを選び、記号で答えなさい。

ア　筆者と妻　　イ　筆者と筆者の子ども

ウ　筆者と従者　　エ　筆者と従者の子ども

問七　傍線部⑦とありますが、「小松」にたとえられているものは何ですか？簡潔に答えなさい。

問八　傍線部⑧を現代語訳しなさい。

【解答欄】

問一		問二	
問三			

問四		問五			問六	

問七	
問八	

『土佐日記』「帰京」（読解）　解答

【解答欄】

問一	家
問二	ア
問三	お礼はしようと思う。
問四	エ
問五	小松
問六	イ
問七	筆者の子ども
問八	書き尽くすことはできない